

スタートアップの事業障壁を解消する「大学リソースの有効活用」 ～東京都立大学・ミリ波フィールドが革新的ディープテックのポテンシャルを拓く～

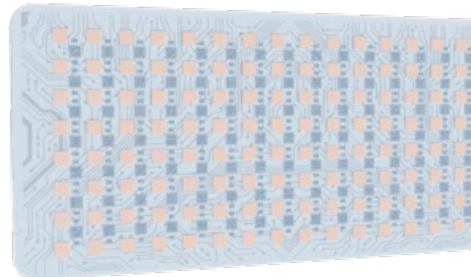
Point!

基礎開発

実機フィールド
検証・改良

サービスイン

VISBAN



※ガラス基板によるミリ波リピータ

- (株)Visbanは、5Gミリ波帯(28GHz)の社会普及の最大の壁である通信可能範囲(カバレッジ)を広げるリピーター(通信中継器)を開発するスタートアップです。
- 奥まった場所、屋内一屋外間、複数階層など、ミリ波通信が必要な場所に「**高い小回り性と低コストで**」電波を届けます。
※DAS (Distributed Antenna System)に近い役割です。コスト・設置の手間・保守費等で優位性があります
- ガラス基板を用いる点が技術的特徴であり、日本の製造技術の強みを生かし、非常に安価に製造可能です。量産メーカーとのアライアンスも構築済みです。**
- AIとデジタルツインに基づくマルチホップ技術により、**必要最低限のリピーター数で、非常に安定した無線通信が可能**です。
- 4.5億円の資金調達済みです。ミリ波を当たり前にする社会の実現のため、**国内外へ事業展開・スケールを目指します。**

- サービスインには絶対的に必要なフェーズであり、乗り越える必要があります。
- しかしながら、ミリ波通信の大規模実証が可能な環境は、官民連携・大企業連携の視点に留まるとそうそうありません。
- 東京都立大学ではSub6、ミリ波ローカル5G基地局が複数整備された大規模フィールドが構築されております。本フェーズの乗り越えは東京都立大学との連携だからこそ実現できます。
- 東京都立大学のミリ波フィールドは、非常に優れた施設ながら、スタートアップや中小企業でも利用可能な制度です。限られたリソースの中でビジネスを推し進めるスタートアップの成長に貢献します。



日野キャンパスを広域に
カバーする大規模な
ミリ波通信環境を用いた
フィールド実証